

クリスチーネ・F (1981)

CHRISTIANE F.

メディア 映画
ジャンル 青春 ドラマ
製作国 西ドイツ
時間 131分
初公開日 1982/06
公開情報 ヘラルド

【解説】

荒んだ家庭に育った孤独な13才の少女が麻薬に溺れ、ついには売春に身を投じてしまう姿をドキュメント・タッチに描いた衝撃作。薄汚れた当時の西ドイツの町中や薬でボロボロになっていく少女と仲間たちの悲惨な姿など、生々しいシーンが展開されるが、ドキュメント・タッチに描かれた故に全体的に単調な出来。尚、音楽を担当したD・ボウイが自らを演じ、彼のライブがワン・シーン見る事が出来る。

【クレジット】

監督	ウルリッヒ・エデル	Ulrich Edel	
製作	ベルント・アイヒンガー	Bernd Eichinger	
原案	ウルリッヒ・エデル ホルスト・リーク	Ulrich Edel	
脚本	ヘルマン・バイゲル		
撮影	ユストゥス・パンカウ		
音楽	デヴィッド・ボウイ	David Bowie	
出演	ナーチャ・ブルンクホルスト トーマス・ハルシュタイン イェンス・クーパル イアン・ゲオルグ・エフレル クリスチーヌ・ライヒェルト クリスチーヌ・レハル デヴィッド・ボウイ	Natja Brunckhorst クリスチーネ・F デートレフ アクセル ベルント バブシー クリスチーネの母	(ノンクレジット)
		David Bowie	